

League communication EHIME

[発行所]

連盟 あいひめ

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14
TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝



ご挨拶

会長 吉田 昭枝

あけましておめでとうございます。

みなさまお健やかに新年を迎えられたこととおもいます。

日頃より、看護連盟の活動にご支援、ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス感染症の対応に日々ご尽力されたみなさまに敬意を表します。

この状況下であり、例年のように連盟活動が活発にできませんでした。しかし、コロナ禍で医療現場ではどのような事が発生しているか「現場の声」を聴くためにアンケートをさせていただきました。アンケートは、2020年6月5日から26日までの期間で病院・介護福祉施設・訪問看護ステーションを対象にしました。アンケート結果は、愛媛県看護連盟のホームページに掲載していますのでお目通しください。また、看護協会長と共に自民党政調会長や県知事に危険手当や慰労金に対しての要望書を提出いたしました。

危険手当や慰労金が病院に入るのではなく、看護職を含む医療従事者個人に支給されることを直接県福祉部長にお願いにも参りました。結果、感染指定病院から危険手当と慰労金が個人に支給されたとの情報を得ました。

自分の危険を顧みず、風評被害に遭いながらの現場対応は本当に大変だったと思います。少しでも、これらが看護師のみなさまのお力になればと思います。

今年は丑年。牛は耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から丑年は、我慢（耐える）、発展の前ぶれ（芽が出る）を表す年だそうです。この言い伝えを信じて新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、例年のように連盟会員のみなさまと共にしっかりと活動をしてまいりたいと思います。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

皆様にとって今年1年が希望に満ち、幸多き年になりますよう祈念いたします。

受章おめでとうございます

令和2年秋の叙勲

瑞宝双光章

吉田 真弓様

(元国立病院機構 四国がんセンター看護部長)



新年のごあいさつ



日本看護連盟会長
大島 敏子

あけましておめでとうございます。

昨年はCOVID-19の感染に終始した1年でした。臨床の皆様には、それぞれの立場で、最善を尽くしてきて頂いた1年であり、心からの敬意と感謝を送ります。戦いは終わったわけではありませんが、もう一息です。国民と共に頑張りましょう。

連盟の昨年の課題は、令和の地域包括ケアシステムに合わせたスローガンの変更とPR動画やポスターの作成、広報ツールの見直しとブロックセミナーを協会長参加で開催すること、そして戦略会議を各県ごとからブロック開催することでした。以上は確実に実現できましたが、第26回参議院選挙の候補予定者の推薦については、委員会規約を見直し、今年の総会でご承認いただく予定です。

丑年の今年は、大地に足を下ろし、協会が連盟をつくってきた60年前に戻り、「看護は一つ」の合言葉の下に、連盟活動を原点回帰の1年にしたいと思います。本年も宜しくお願い致します。



公益社団法人
愛媛県看護協会会長
小椋 史香

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、医療従事者は感染防止対策と対応に追われ、忍耐と協働が求められる一年でした。感染リスクへの不安と緊張、風評被害による精神的ストレス、業務の増大など、第1波・第2波・第3波と繰り返しピンチに見舞われました。

その苦悩の分だけ、得られた教訓もたくさんありました。医療の継続を担保する体制整備、最前線で戦う看護職を守り、業務負担を軽減するためのシステムづくりと備え、また感染管理認定看護師の社会貢献が脚光を浴び、看護力の発揮により、住民に安全と安心をもたらす証となりました。

辛丑年は、「痛みを伴う衰退と新たな息吹が互いに増強し合う年」と言われ、新たな命の息吹が互いを生かし合い強め合うと言われています。新型コロナウイルス対応は、医療優先か経済優先かと常に葛藤し、痛みを伴うものでした。新しい年は、新たな生活様式やロボットの活用、IT技術の進化により、これまでにない価値観や改革を受け入れ、柔軟な対応が求められることでしょう。

繰り返しピンチを経験したことで、これまで以上に看護職の政策提言や看護力の発信、看護職の団結が重要であることを痛感致しました。今後も、看護政策実現のために看護連盟と看護協会が一体となって困難に立ち向かってゆきましょう。

皆様のご健康とご活躍をこころからお祈りし、新年のあいさつとさせていただきます。



衆議院議員
あべ 俊子

新年明けましておめでとうございます。令和3年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

愛媛県看護連盟の皆様には、昨年より、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち、日本国民のいのち・暮らしをお守りいただいていることに、心より感謝申し上げます。

ご自身の感染リスクがある中、患者最優先で業務されている日々の積み重ねによって、医療崩壊を起こすことなく、新しい年を迎えることができました。昨年は、こうした皆様のご尽力に対し、十分でないながらも、慰労金や助成金の形で、ご支援させていただきたく、関係各所との協議に奔走した1年でございました。

新型コロナウイルスとの闘いは長期戦となり、新しい社会を模索している最中でございます。臨床、教育、行政の現場よりご意見いただき、Withコロナ時代を皆様と進んで参りたいと存じます。



参議院議員
たかがい恵美子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。愛媛県看護連盟の皆様並びにご家族の皆様におかれては、昨年来の感染症有事への対応等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨秋より政調副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナ対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせていただいております。

人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが存分に役割を発揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。

皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようご祈念申し上げます。



参議院議員
石田まさひろ

愛媛県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。2021年がすばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの蔓延により、私達看護職は医療介護の現場ではウイルスと、そして家庭をはじめプライベートな場所でも日々不安と戦ってきました。現場から多くの声をいただき、課題を解決すべく活動を続けた1年でもありました。その中で看護職においては慰労金が支給されるなど、以前よりも看護職自身、そして専門性にも注目が集まるようになりました。病院の経営不振などから処遇が悪化している方もいる中、看護職全体の処遇改善にさらに力をいれていきます。

また昨年9月に、参議院において厚生労働委員会筆頭理事と参議院自民党国会対策委員会の副委員長を拝命しました。気を引き締めて責務を全うしていきます。

私の政治信念は「現場」とともにあります。看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力してまいります。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



衆議院議員
木村 弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
コロナの中で大変な思いをして頑張っておられる全ての看護職の仲間たちに、心からのエールをお伝え申し上げます。

第203回臨時国会は、1カ月余りの短期間でしたが、厚生労働委員会では予防接種法改正などが成立。私も、厚労委員会と消費者問題に関する特別委員会で質問、総務委員会では郵便法改正案の賛成討論などをいたしました。

第2次補正予算では、慰労金として看護職への直接手当が実現しました。これは看護界史上なかったことです。これを特例にせず、超少子高齢社会の医療提供体制のキーパーソンである看護職のモチベーションの維持のためにも、看護の専門性が正しく評価されるよう、引き続き発信してまいります。これからも、看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、看護連盟の皆様とともに、現場の声を丁寧にうかがいながら、力を尽くしてまいります。

コロナを経て、経済一辺倒ではない、内面の時代になりました。看護師・保健師出身の国会議員として、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。

あけまして おめでとう ございます



令和三年 元旦



幹事長
巻田すみ子

コロナ渦の中での新年

新年おめでとうございます。昨年は新型コロナの影響で総会が開催出来ませんでした。現在も予断を許さない状況で、仕事も家庭もストレスを感じながらの毎日ではないでしょうか。まずは、自分自身の健康管理に気をつけてください。

こんな時の連盟活動として、看護連盟のホームページを見ることを提案します。連盟の活動の新しい情報がたくさんあります。情報収集をして、今年も頑張りましょう。



副会長
正岡 美恵

皆様を始め多くの人々がこれまでにない気持ちや形で新しい年をお迎えのことでしょう。新型コロナウイルス感染症との闘いからはや1年経ち、長期化する医療現場の混乱・疲弊が計り知れないなか、看護職が活動・活躍する場の大きさや看護師の専門性の偉大さ、潜在看護師の復職の重要性等実体験しました。この実体験を私のエネルギーとして、この1年看護連盟役員として活動して参ります！



幹事
大仲 道子

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いろいろな行事、研修会が中止となる大変な年でした。看護職の皆様は常に危険と隣合わせの業務で毎日大変だったと思います。今年もまだまだコロナウイルス感染に気をつけなければなりません。連盟パワーでこの状況を乗り切りましょう。会員の皆様も今回改めて看護と政治の重要性、連盟活動の大切さを認識されたと思います。

今年も健康に気をつけ、会員増に向けて活動していきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



新居浜第一支部

支部長
鎌倉 文子

新型コロナウイルス感染拡大で大変な年明けスタートですが、こんな状況下だからこそ「現場の声を政界に届ける」必要があります。新居浜第一支部ではOBの方にも会員になっていただきました。支部役員・リーダーが一丸となり、政治を身近に感じてもらえるよう「きめ細やかな活動」を行っていききたいと思います。

今年もよろしくお願い致します。



新居浜第二支部

支部長
守屋 昭子

明けましておめでとうございます。今年「丑年」。牛の特徴は「粘り強さと誠実」とも言われます。

この粘り強さで、幸せいっぱい・楽しい事いっぱいの「ぎゅう・ぎゅう」詰めの年になりますように。そして、「もあ〜」コロナに負けない年にしましょう！

今年も看護連盟活動に誠実に取り組んでいきましょう。ご協力を宜しく願います。



西条支部

支部長
日浅千代美

新年明けましておめでとうございます。昨年は目に見えぬ脅威との戦いで始まり、終息の見えないまま一年が過ぎてしまいました。まだまだ戦いは終わりませんが、自院に課せられた役割を粛々と果たしていきたいと思っております。今年の目標は、「動くチーム」。厳しい経営状況を打開するために、じっと耐えるだけでなく、次に踏み出すために動けるチーム作りを目指したいです。自院だけでなく西条支部としてもチーム力を強固なものにします。



今治支部

支部長
曾我部恵子

2021年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍により、今治支部においても活動が難しい1年でした。

今年オリンピックが開催され、明るい1年になることを期待いたします。丑年らしく、ゆっくりと着実な連盟活動ができるよう役員一同頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。





中予第一支部

支部長
宮下 圭子

新年あけましておめでとうございます。
昨年より、鋪村支部長の後任として活
動を始めました。

役割を担えるか不安ですが、支部の皆さまと協力しながら頑
張りたいと思います。

新スローガンである「届けよう看護の声を 私たちの未来
へ」を一人でも多くの人に浸透させ、会員の増加を目指しま
す。看護を取り巻く環境をよりよくするために、看護の代表
を国政に送り出せるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

ご協力よろしくお願ひいたします。



中予第二支部

支部長
柏 美栄子

新年あけましておめでとうございます。

中予第二支部では、今年度「支部の強化」目標達成の
ために会員研修に力を入れました。

まずは、看護連盟の歴史や成り立ちを知ることで、連
盟に対する理解を深めてもらおうと全体研修を企画しま
した。看護師として誇り高く働き続け、子や孫の世代が
安心して暮らせる社会にすべく、当支部の頼もしいリー
ダー達がリーダーシップを発揮し研修実施中です！



中予第三支部

支部長
中野 民子

謹賀新年。2021年コロナ禍での生
活は終息しそうにありません。私たち

は、患者さまの生活・自身の生活・家族の生活・未来の医
療界を支える若い看護師の生活を考える必要性を強く感
じています。未来を担う看護実践者が、努力や信頼関係
があれば状況に負ける事無く力強く歩むことの出来る社
会の醸成を夢見ています。一人ひとり、微力ですが力
を合わせ、患者さまに寄り添った看護の継続のために力
を尽くしたいと考えます。



中予第四支部

支部長
谷岡 真作

昨年4月から、中予第四支部長を拝
命しました。松山記念病院の谷岡です。

今の自分たちの待遇があるのは、先輩たちが政治活動を
し、看護の代表を国会に送ってきた結果です。専門職と
して研鑽を積むと同時に、自分たちの声を政治の場に届
けていく必要があり、そのための看護連盟です。至らぬ
点もございますが、自身やこれから看護師を目指す後輩
のため、微力を尽くしていきたいと思ひます。宜しくお
願ひ致します。



中予第五支部

支部長
笹山千代美

支部長・役員・リーダー研修参加者
2名、新規入会者研修参加者3名によ

る報告会を11月5日に行いました。人数制限を行い奥島
病院10名、道後温泉病院12名、場所は奥島病院会議室
です。若い人たちからの行動レベルでの報告は嬉しく頼
もしく思ひました。さらには支部活動のあり方にも刺激
を受けました。その内容は『選挙のない年こそ活動を活
発に』です。今年も会員ひとり一人の力を借りて『継続
は力なり』を念頭に置いて活動します。



中予第六支部

支部長
大西 文恵

中予第六支部は、松山赤十字病
院、愛媛県血液センター所属の会員

452名、支部役員8名で活動をしています。

多様性が求められる時代、自分の好奇心や興味、探
求心からわきおこる原動力を大切に・・・そして他者
のその力をサポートできる人や組織づくりに努めたい
と思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。





中予第七支部

支部長
倉橋 千秋

新年明けましておめでとうございます。
今年より支部長をさせて頂くことになりました。

今年は丑年ですね。昨年から続く難局を乗り越えるのにふさわしい干支だと思います。

牛のようにゆっくりと、でも、確実に歩み、成果に向けて努力を重ねていく年にしたいと思っています。中予第七支部の役員の顔ぶれも変わりました。皆で「看護連盟」の存在意義を広く伝え、連盟会員の確保と会員1人ひとりが楽しく活動できるよう取り組みたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い致します。



中予第八支部

支部長
川本 美加

明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍でみんなが我慢を強

いられた年となりました。

丑年は「これから発展する前触れ」という年だそうです。コロナによる生活様式の変化、働き方の変化など、今後の芽吹きを迎える年として、コロナを克服し、希望に満ちた年となるように、今を大切にしていきたいと考えています。



看護教育支部

支部長
矢野由紀子

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄されました。最前線で戦われている仲間の活躍に心打たれております。ありがとうございます。

中予教育支部では今後も感染対策を徹底したうえで、皆様に興味を持っていただけるようなテーマの研修会を企画・運営していこうと考えています。皆様もこんなテーマで研修会をしてもらいたいというご希望がありましたらぜひ教えてください。今年もよろしくお願いいたします。



南予第一支部

支部長
福本 節子

2020年新型コロナウイルス感染症で始まって、県外外出自粛、活動自粛「3密」の厳守、手洗い、マスク着用とストレスの貯まる一方で生活となりました。

そのような中で「ほっ！」としたのはカラフルな柄、色、型とデザイン豊富なマスクをファッションの一端とし楽しんでいる人々を目にした事です。

2021年コロナの収束、ワクチン接種が可能となり明るい良い年になる事を願っています。

そして「新年明けましておめでとうございます」と笑顔で言いたいですね。コロナ禍の中感染リスクと背中合わせで不安な毎日を看護・介護に携わっている方々に感謝します。



南予第二支部

支部長
近藤 伸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2020年は、世界中の人々が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、私達看護職も1年中戦い続けた年でした。

そのような状況の中、連盟活動もソーシャルディスタンス、リモート等、いろんな方法、形を変えて活動してきました。また、皆様におかれましては、医療現場における日々のご苦勞は努力の賜物と思っております。今日があること本当に感謝しております。

1日も早く落ち着いた生活を取り戻し、誰もが安心して暮らせるように、私達の未来へ！一丸となって皆様と共に頑張っていきます。

新年が健やかな笑顔あふれる年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



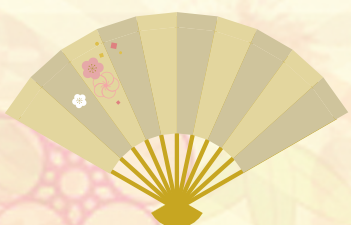
南予第三支部

支部長
家藤八重子

昨年は、コロナ禍で研修会や外出等、自粛生活に慣れて行き、暗くなりがちでした。

まだまだ問題山積みの年になるかもしれませんが、透明マスク・リモート・働き方改革等、新たな進展や発明へと繋がって来ました。人間って……留まる事をしませんね(*^。^*)

南予第三支部西予・吉田の会員153名と共に力を合わせて先を急がず一歩一歩着実に歩んで、出来る事に努めながら、**モオ〜**皆で楽しめる年にして行きたいと思っています。





青年部

代表
魚見 祐子

明けましておめでとうございます。
日頃から青年部の活動にご協力
頂きありがとうございます。昨年は
「Zoom」を活用したリモート会議で、他県青年部との意
見交換を行うことができました。新たな取り組みにより、
青年部の団結力は強いものになったと実感しました。こ
れからも明るく楽しく活動していこうと思っています。
今年度も青年部を宜しくお願いいたします。



青年部

副代表
川村 弘明

日頃より連盟活動へのご理解・ご協力
をいただきありがとうございます。
現在、新型コロナウイルスが世界各地で猛威を振るっており、それに伴い、医療の現場だけでなく様々な場面で価値観
の変化がありました。大変な時ではありますが、大変とは読
んで字のごとく「大きく変わる」と書きます。今回のコロナ
が終息したときには看護の価値が高まっていると私は信じて
います。
現場での悩み・苦悩は是非一人で抱えず発信し、皆でコ
ロナを乗り切りましょう。



青年部

副代表
酒井 拓二

こんにちは。愛媛県看護連盟青年部副代
表の酒井と申します。2020年も残すところあと少しとなりました
が、愛媛県下で看護師として活動している皆様にとりまして
激動の1年であったのではないのでしょうか。これからのWithコ
ロナ時代をどのように生きていくのか社会が混乱している現在、
看護に対する関心はこれまでに無いほど注がれているのでは
ないかと感じます。心身共に健康に過ごすという事がどれほど幸
せなことか、私自身深く考えた1年でもありました。社会の中
で看護が果たせる役割というものを今一度考えながら連盟活動
も頑張っていけたらなと思います。



青年部東予ブロック

ブロック長
長山 幸仁

看護連盟の活動に携わり5年が過ぎ
ようとしています。青年部東予ブロッ
クでは、連盟活動を知る機会となりました。これまで私
自身の政治への関心は決して高くありませんでした。し
かし看護職の処遇改善は、闘病されている患者さまへよ
り良い看護を提供することにつながることを学び、政治
への働きかけが重要だと実感しています。看護職の生の
声を届けるために、看護連盟の活動に賛同してくれる仲
間を見つけ、活動の輪を大きくしたいです。



青年部中予ブロック

ブロック長
加藤 忠和

新年明けましておめでとうございます。
す。健やかに新春を迎えられたことと、
お慶び申し上げます。青年部主催での新規入会者研修は、
ソーシャルディスタンス等に注意し、無事に行えました。
今までとは大きく違った一年となり、青年部が集まる機
会が限られましたが、少ない時間だからこそ効率よく意
思疎通が行えたと思います。今年はふれあいの多い笑顔
あふれる年となりますようお祈り申し上げます。



青年部南予ブロック

ブロック長
河野あずさ

会員の皆様、日頃から看護連盟の活動に
参加していただき、ありがとうございます。
昨年度から青年部役員活動に加わりまし
た、南予ブロック長の河野です。初めての青年部役員としての活
動で、私自身不慣れなこともあり、周りの方々にご迷惑をかける
ことも多々ありましたが、研修の企画立案・運営等、青年部役員
の皆さんにサポートしていただき、看護連盟について少しでも
多くの方々知ってもらえるように日々活動してきました。コロナ
禍の今、色々と制限のある生活の中で不安な日々が続きますが、
青年部としてできることを考え、看護の未来のために、邁進して
いきたいと思っています。

愛媛県看護連盟通常総会（書面決議）報告

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止と会員の皆様の安全を最優先に考えた結果、県役員、支部長、支部幹事長および青年部役員による書面での議決とし、2020年6月19日必着で書面決議書をご提出いただきました。

2020年度 愛媛県看護連盟決議結果

書面決議者 37名（副会長、幹事長、幹事、支部長、支部幹事長、青年部代表、副代表）

議 案

| | | | | | | |
|-----------------------|----|-----|-----|----|----|----|
| 1. 2019年度決算報告(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |
| 2. 2019年度監査報告(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |
| 3. 2020年度スローガン(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |
| 4. 2020年度活動計画(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |
| 5. 2020年度収支予算(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |
| 6. 役員改選(案)について | 承認 | 37名 | 不承認 | 0名 | 無効 | 0名 |

結 果

すべての議案について、可決されました。

特記事項

愛媛県看護連盟規約第4章総会第23条には「総会における議決は出席者全員の過半数をもって決し、」とあり、書面決議者37名、委任状 4,755名、計4,792名でした。会員数 5,059名の過半数を超えており、総会決議が成立することを申し添えます。

ご多用のところ、ご協力誠にありがとうございました。



2020年 日本看護連盟通常総会に参加して

愛媛県看護連盟 副会長 正岡 美恵

11月30日(月) 13:00~15:30 / 東京プリンスホテル又はリモート会議の併用

2020年度の日本看護連盟通常総会が11月30日に東京で開催されました。

本来なら6月5日に開催予定でしたが、皆様ご承知の如く新型コロナウイルス感染症による全国への緊急事態宣言の発令によりこの時期まで延期されました。さらに第3波の兆しにより、看護師不足や看護師への負担増が連日報道される中、当日の会場参加者47名に対しはるかに上回る約300名がリモート(ZOOM)形式での参加、委任状233名での開催となりました。

これまでにない形式での総会で、例年の熱気があふれる総会ではありませんでしたが、大島敏子日本看護連盟会長のご挨拶では、日々過酷な臨床現場で奮闘する看護師への敬意が肅々と伝えられました。

この会長挨拶は全文が日本看護連盟のHPに掲載されていますので是非多くの方に読んでいただきたいと思います。この挨拶の中で大島会長は、日本看護連盟は、日本看護協会とともに今回のコロナ禍での看



護職への慰労金支給の要望と実現だけで満足することなく、今後も現場の看護職を守る活動を続けると明言して下さいました。

このメッセージを様々な現場で今日もこの時も頑張っている看護師の方々にお伝えするとともに、愛媛県看護連盟の役員の一員として行動・活動して行こうと改めて思いました。

2020年度中国・四国ブロック 看護管理者・看護教育者看護政策セミナーを受講して

社会医療法人石川記念会HITO病院 看護部長 細川 克美

10月31日(土) 9:30~15:15 / ホテルマイステイズ松山・リモート併用 / 愛媛県参加者14名(全参加者65名)

私は、昨年度、他県の看護管理者をリタイアして愛媛県に異動して参りました。入職時、自病院における看護職員の看護連盟入会率の低さに驚愕致しました。



今年度は、看護職員が適正に看護連盟への理解を深めることを目標に掲げ活動しております。今回、セミナー受講の機会を得て、目的である「看護職育成の核となる看護管理者・教育者の政治への関心と看護連盟への理解を深め、自立した会員育成と組織強化につなげる」を強く意識することができました。

中でも、日本看護連盟の看護政策の取り組みが、日本看護協会の動向に大きな影響を与えていることを再認識致し、改めて広報の必要性を痛感しました。そして、塩崎衆議院議員から、政府のコロナ対策の実際をリアルな言葉で伺い、気を引き締めて下半期のコロナ対策に看護が一致協力して力を発揮しなければ強く感じました。リモート形式ではありましたが、対面による講義と同様な研修効果が得られたと感じています。

2020年度新任支部長・役員・リーダー等研修に参加して

公立学校共済組合四国中央病院 三嶋 友恵

9月12日(土) 10:00~12:30 / ホテルマイステイズ松山 / 参加者47名



リーダーとして初めてこの研修に参加しました。看護職の様々な悩み事を解決するためには制度を変

えることが必要で、そのためには、看護協会と看護連盟の協力が必要だということが再確認できました。

グループワークでは、活動として選挙前に呼びかけを行う程度で、なかなか看護と政治が結びつかないという意見が出ました。しかし、各施設の取り組みなどを聞くことで、リーダーとしての自覚も芽生え、まずはできることからやろうという意識に変わっていきました。

最後に吉田会長が「政治とは、人々の中での解決事」と述べられました。その言葉に込められたメッセージも受け取り、今後の自施設での取り組みに活かしていきたいと思います。

南予合同役員・リーダー研修に参加して

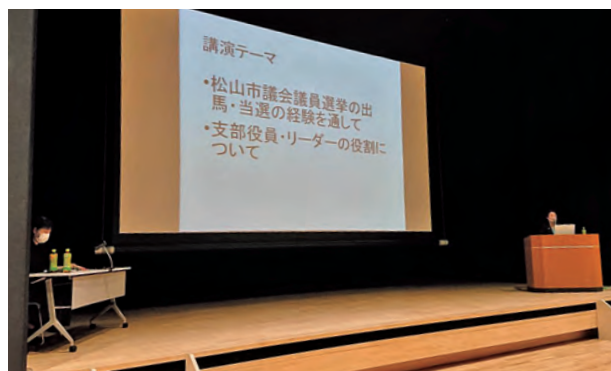
JCHO宇和島病院 武田 由美

9月26日(土) 10:00~12:00 / パフィオ宇和島 / 参加者41名

私は本年度リーダーをさせて頂くことになりました。

松本久美子議員の講演では選挙出馬体験を通しての貴重なお話を聞くことができました。中でも私が心に残ったのは「地域住民の疾病予防・健康増進のために、医療職の代表を政治に送る強い組織づくり」というお言葉です。私は医療従事者が政治家になることで職場環境や処遇が改善されるという自分たちのメリットばかりを考えていました。「地域住民のために」という松本議員の言葉にはっとさせられました。「地域住民の健康のために政治をかえる」という強い信念に感銘を受けました。

グループワークでは多施設の役員・リーダーの方々と有意義な意見交換を行うことができました。



新規入会者研修に参加して

松山リハビリテーション病院 看護師 平田 夏芽

10月3日(土) 10:00~11:30 / ホテルマイステイズ松山 / 参加者45名



「看護連盟」と聞いても、私自身どのような活動を行っているのか、どのような実績があるのかすぐに

は思いつきませんでした。しかし、今回の研修を通して、以前に比べると理解出来たように思います。

実績としては新人看護職員研修の推進、夜勤手当の増額、特定行為研修の誕生がありました。1人の力では制度を変えることは難しいけれど、たくさんの人が協力する事によって制度を変えることも不可能ではないと気付きました。

看護職国会議員についても説明があり、私の知らない所でよりよい看護を提供するため、働きやすくするために活動してくれているという事を知ることが出来ました。

看護連盟看護管理者研修に参加して

南高井病院 梶原 若奈

11月7日(土) 10:00~12:00 / ホテルマイステイズ松山 / 参加者57名

先日渋谷美香先生を講師にお招きし、中途採用者の職場適応をテーマとする管理職研修に参加しました。実体験を、ユーモアを交えてお話ししていただき、あっという間の90分でした。

印象に残ったのは「違うところだけ見ない!」ということです。私達看護職は、患者さんの普段との違いを早期に発見する優れた能力を持つがゆえに「違うことはいけないこと」と捉えてしまいがちです。私の部署においても、中途採用者が入職した際「あの人のやり方が違う」と訝しげな表情の職員を見かけることがあります。しかし、目的・根拠が同じならば違

いを指摘するのではなく、認め承認することが大切です。今回の学びを研修計画や職員の指導に生かせていきます。



中予地区会員研修『ハラスメントの基礎知識』

伊予病院 橋本 樹子

11月14日(土) 10:00~12:00 / ホテルマイステイズ松山 / 参加者30名



ハラスメントという言葉は最近よく耳にします。研修に参加することで、具体的にどのような行為が

ハラスメントにあたるのか定義を知ることができました。又、適正な指導とパワハラの違いやグレーゾーンについて学ぶこともできました。

グループワークはできませんでしたが、パワハラ度チェックシートやハラスメント自己診断を行い、改めて自身の行動を確認することができました。

私は、指導する立場であるため、今後は、パワハラに該当していないか、意識して行動したいと思いました。又、パワハラを未然に防ぐためにも、普段からコミュニケーションをとり、ハラスメントのないコンプライアンス意識の高い職場づくりをしていきたいと思いました。

青年部中国・四国ブロック会議に参加して

市立大洲病院 上野 晋也

11月25日(水) 13:00~16:00 / 参加者3名

11月25日オンライン会議が開催された。私は、Zoomアプリの使用が初めてだったこともあり今回は、愛媛看護会館で参加した。会議では、新型コロナウイルス感染症対策についての課題と対策、青年部活動の工夫など各県の活動を情報交換し、ブレイクアウトルームで活発に意見交換を行った。

現在、ほとんどの県では、青年部活動が実施できていない中、岡山県では、12月にZoomアプリを使用したポリナビワークショップを開催する予定と知り、開催方法の説明を受けた。

コロナ禍で、思考停止することは、歩みを止めることである。私達は、今できることを考え、活動し

てみるのが大切なのだと感じた。今後は、活動においても新たな取り組みを模索しながら歩み続けていきたい。



「新型コロナウイルスの感染症」に伴う 各施設看護管理者への状況調査

1. 調査目的

今回、各施設が新型コロナウイルス感染症に遭遇し対応した。
対応する中でどのような「現場の課題」があったかを明らかにすることで、今後の対応に活かす。
さらに課題解決にあたり、政治や行政に働きかけるための根拠とする。

2. 調査対象・方法

2020年3月31日時点で、愛媛県看護連盟に加入している69施設
内訳／病院：58 介護福祉士施設：6 訪問看護ステーション：5
無記名自記述式の質問紙を郵送し、返信はFAXとした。

3. 調査期間

病院：6月5日～6月26日までの21日間
訪問看護ステーション：6月15日～26日までの11日間
介護福祉士施設：6月17日～26日までの9日間
*質問紙ができ次第郵送したことで、郵送に時間差が出ている。

4. 結果

回収数・率
病院：49／58（84.5%）
介護福祉士施設：6／6（100%）
訪問看護ステーション：5／5（100%）

病院

1) 回収率

49／58（84.5%）

2) 設置主体

国・公的：22 私立：25 無回答：2

3) ベッド数

最大数 827床（自治体病院）
最小数 30床（公的病院）

4) 病院における新型コロナウイルス感染症 患者受け入れ状況

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた8病院の設置主体は、7病院が国・公立病院、1病院は設置主体が無回答であった。

受け入れていない41病院中、15病院の設置主体は国・公立病院で26病院が私立病院であった。

図1 調査施設の回収率・率

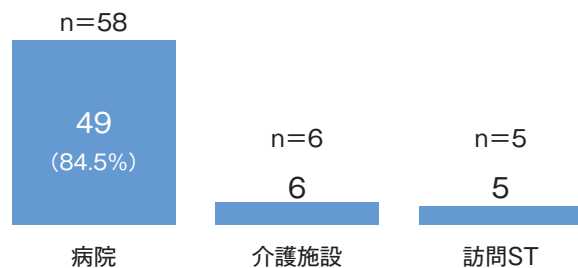
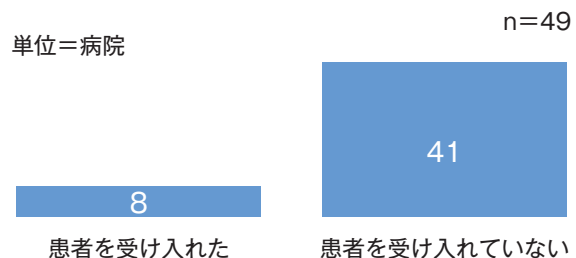


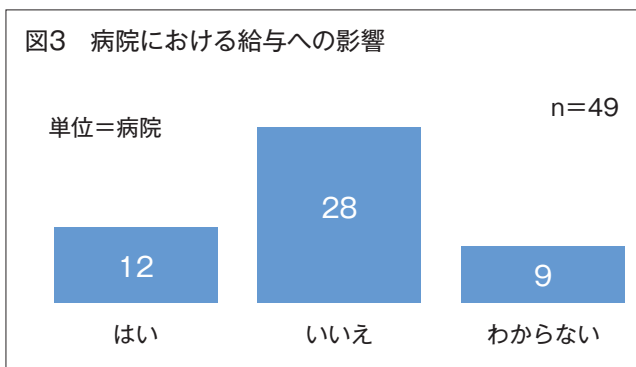
図2 病院における
新型コロナウイルス感染症患者受け入れ状況



5) 給与等への影響

給与等への影響があると回答したのは、「はい」が12/49、「いいえ」が28/49、「わからない」が9/49であった。影響があると回答した内容は、「昇給の延期」1、「賞与の減額あるいはなし」が2であった。この中で、病院独自の危険手当がついた回答した病院が1施設あった。

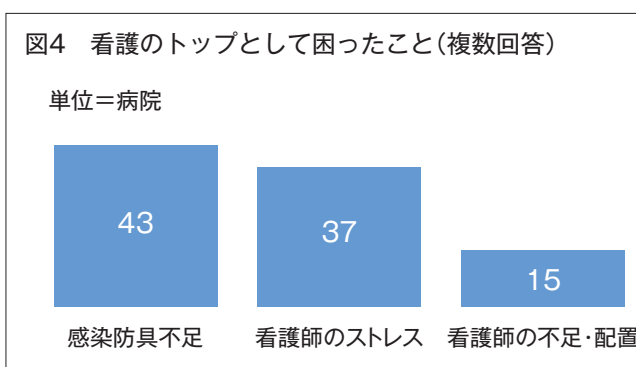
この他、危険手当が支給される予定と回答したのが5施設あった。この5施設は、県からの支給のことを回答したと思われる。分からないと回答したうちの2病院が賞与の減額あるいはなしが今後あるかもしれないと自由記載があった。



6) 看護のトップとして困ったこと (複数回答)

「看護用具の不足」が43/49病院で最も多く、次いで「看護師のストレス」37/49病院、「看護師の不足・配置」37/49病院であった。

看護用具の不足では、コロナ感染症患者を受け入れた病院中6/8、病院が不足と回答、受け入れが無かった病院でも36/41病院が不足と回答した。



介護福祉施設

1) 回収率

6/6 (100%)

2) 設置主体

公 的：4 私 立：2

3) ベッド数

最 大 100床 (公的施設)

最 小 29床 (私立施設)

4) 新型コロナウイルス感染症患者受け入れ状況

受け入れ無し：5施設

受け入れるか否か検討中：1施設

5) 給与等への影響

あ り：1 (賞与の減額あるいは無給)

な し：4

わからない：1

6) 看護のトップとして困ったこと (複数回答)

感染用具不足：5

看護師の不足・配置：2

看護師のストレス：5

減 収：1

訪問看護ステーション

1) 回収率

5/5 (100%)

2) 設置主体

公 的：3 私 立：2

3) 利用者数 (月平均)

最 大 1,319人

最 小 47.9人

4) 新型コロナウイルス罹患後の患者訪問

していない：5

5) 給与等への影響

無 し：5

6) 看護のトップとして困ったこと (複数回答)

防護用具の不足：5

看護師不足・配置：2

看護師のストレス：4

利用者・訪問回数の減少：3

訪問ステーションが休業した場合の連携体制：2

各施設看護管理者への 「新型コロナウイルス感染症」に伴う調査

自由記載内容

人的資源管理

感染対策マニュアル

減収

病院：49

- 感染指定病院ではない。受け入れとなった場合、大幅なベッド削減が必要。そうすると地域の中核病院としての機能が果たせなくなる。
- 妊婦が通常の産前休暇まで勤務しないといけない状況（看護師不足のため?）。どのように支援したらよいか。
- 外来・入院患者数減少による経営困難。
- 医療従事者全員に、抗原・抗体検査が受けられる体制の整備を要望。
- 実習制限がある学校への支援も必要。
- 軽症患者の受け入れで大変なので、重症患者の受け入れ対応施設に頭が下がる。
- 外来・入院患者の減少。訪問リハビリ、介護利用者の減少。
- 新型コロナウイルスの感染症患者の受け入れ病院ではないが、そうなったときの対応を気軽に聞ける環境またはマニュアル等の準備が欲しい。
- 県をまたいで行動した看護職の2週間の出勤停止した時の勤務表作成に苦慮。
- 普段標準予防策が不十分だったが、今回を通じて感染管理行動を意識するようになり、標準予防策の徹底が図れた。
- 地域の方々からの労いの言葉を頂き、スタッフと共有した。
- 今回のことで、豪雨災害時の感染対策の課題が見えてきた。
- 妊婦が感染予防のために規定より早く産前休暇に入り、看護師不足があった。
- 宿泊療養施設に出向した後の看護師の長期休暇により、部署運営に苦慮した。
- 新型コロナウイルスの感染症疑いの患者に対して1対1の看護の負担。
- 外来患者数減少による経営悪化。
- 関連施設も含め感染者が出た場合の人員配置。
- 外来・入院患者の減少。
- 患者数の減少に伴う経営への影響。
- 医療職に対する風評被害。外部からだけでなく、院内からも新型コロナウイルスの感染症患者に対応しているスタッフに対して心無い対応をすることに苦慮。
- 新型コロナウイルスの感染症患者の担当になることへの協力が得られない。スタッフの家族が否定することもあり苦慮。
- 病院の経営状態悪化による今後の方向性を考慮した対応が求められている。

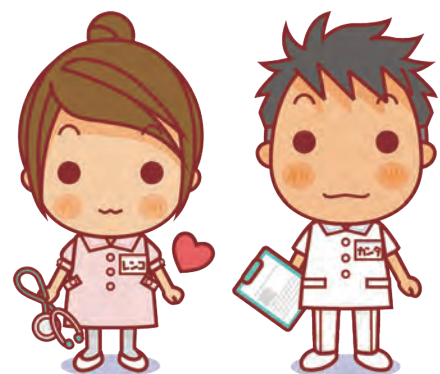
- 今回のことにより、今までにない他部署との結束力が生まれつつある。
- **患者数減少に伴い経営悪化**。経営状況や業務量を鑑みながらも先が見えない状況に苦慮。
- **感染病棟が無い中で、PCR検査結果を待つ患者の入院に対応し、試行錯誤であった。**
- 感染用具不足により再利用の安全性への疑問を持ちつつ使用するジレンマ。
- **感染病棟がないのに、「一般病院」の対応を保健所から言われ、新型コロナウイルスの感染症患者の対応に苦慮した。このような中で、入院患者・スタッフをどのように守るか情報に振り回されながら病院として対応した。**
- **PCR検査が松山で行われるため結果がでるまでタイムラグがあり、それまで陽性患者と同じ対応のためマンパワー不足。**
- **面会の方たちへの検温や聞き取りが負担（看護師たちが主に実施するため）。**
- 病院独自の「危険手当」を病院にお願いしてあるが、今のところ承認されていない。
- 流行地域を訪問した職員を待機させた。感染の有無について不安であった。
- **感染者が出た施設や病院がどのように乗り越えたか教えてほしい。**

訪問看護ステーション：5

- マスクの支給はあったが、アルコール類の不足で困った。

介護福祉施設：6

- 入所者への感染対策、職員への感染対策等を徹底した。**通所リハビリの減少で収入減がある。**
- 施設看護師の意見を聞いてくれる場がなかったので、このように聞いてもらえてありがたかった。
- 入所中の方は高齢で、認知症の方もいる。認知症の方への嚴重な感染対策は難しく、そのため看護師のストレスが大きい。
- 地域で患者が発生した場合のマニュアルはできているが、クラスター発生は免れないと思う。（野村病院併設つくし苑）
- 医療資源不足があるが、経営の問題もあり思うように購入できない。



退任のごあいさつ

中予第一支部長 鋪村加代子

支部長の任期を終え退任致しました。
会員の皆様に支えられ活動できました事、お礼申し上げます。国政選挙、地方選挙を体験し連盟の力強さ、青年部の活躍、成長を感じました。今後も一会員として活動していきたいと思っています。

中予第四支部長 青井みどり

この度退職に伴い中予第四支部の支部長を退任させていただくこととなりました。

多くの会員の皆様の支えで、看護の基盤となる政治の必要性を学ぶことができました。

貴重な出会いを心から感謝いたします。

中予第七支部長 西岡 愛弓

令和2年6月を持ちまして支部長を退任させていただきました。

支部長の役割を担うことにより多くの方と出会い、多くのことを学び、多様な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。今後は一会員として連盟活動に参画し、愛媛県看護連盟を応援していきたいと思っています。9年間ありがとうございました。



◆支部長交代のお知らせ

| 支部名 | 前支部長 | 新支部長 | 支部名 | 前支部長 | 新支部長 |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 中予第一支部 | 鋪村加代子 | 宮下 圭子 | 中予第七支部 | 西岡 愛弓 | 倉橋 千秋 |
| 中予第四支部 | 青井みどり | 谷岡 真作 | | | |

看護連盟入会のご案内

看護連盟の目的

看護協会の目的達成のために必要な政治活動を行い、あわせて国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

看護連盟の活動

看護職の政治力強化に関する活動
看護職組織代表の国政進出と支援に関する活動

年会費

8,000円
(内訳 日本看護連盟：5,000円 愛媛県看護連盟：3,000円)

一人の会員が連盟を知らない一人を誘って会員の輪をひろげ、
明るく楽しい活動をすすめましょう



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス症との戦いの一年でした。医療の現場で奮闘された看護職の皆様から感謝致します。

まだまだ長い戦いが続きますが、今年は新しいスローガン「届けよう 看護の声を わたしたちの未来へ」の下、力を合わせて頑張りましょう